

(法第 26 条関係「定款変更認証申請」)
(法第 28 条関係「書類の備置き」)
(法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

平成 28 年度事業報告書
平成 28 年 4 月 1 日から 平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 インクルいわて

1 事業の成果

*インクルこども食堂

平成 28 年 4 月：ひとり親とこどもの居場所づくり事業—特定非営利活動法人ジェン (JEN) 委託事業

平成 28 年 5 月～12 月：包括的こども食堂の推進事業—特定非営利活動法人ジェン (JEN) 委託事業

平成 29 年 1 月～3 月：こどもの包括的居場所づくり事業

—平成 28 年度盛岡市子ども・子育て支援事業補助金

平成 28 年 4 月～12 月まで、特定非営利活動法人ジェン (JEN) からの委託で、『ひとり親とこどもの居場所づくり事業』及び『包括的こども食堂の推進事業』として、また平成 29 年 1 月～3 月の間については、平成 28 年度盛岡市子ども・子育て支援事業補助金の交付を受け、『こどもの包括的居場所づくり事業』として、『インクルこども食堂』事業を実施した。平成 28 年 4 月から 12 月までの期間は、毎月 1 回、平成 29 年 1 月～3 月の間は合計 8 回、通算して 17 回『インクルこども食堂』を開催した。

全国各地で実施されているこども食堂の多くは、子どもにとって安心でき、親以外の他者(食堂ボランティア、学習ボランティアなど)との関係を築ける居場所という機能がある。

インクルいわてでは、ひとり親やその子どもが地域で生きていく仕組作りの一環として「こども食堂」を定義し、一般的なこども食堂の機能に加えて、①相談対応が出来ること(スタッフやひとり親のピアサポーターによる相談対応や情報提供)、②孤立の緩和(会場となっている施設の高齢者や地域のボランティアが集うことにより親子とも様々な人と接し関係を作ることができる)、③主体性を持った関わりによるエンパワメント(参加者である子どもや親が自らこども食堂の場づくりに主体的に関わることができる)、④地域の理解促進(ボランティア活動や食材の寄付等、地域の人々に関わることにより、子どもやひとり親の貧困についての正しい知識や関わりを啓発する場になる)、という機能をもつこども食堂を実施することで、子ども達とその親を包括的に支援することに加え、さらに、このようなインクルいわて型のこども食堂が盛岡市および岩手県の他地域で展開され、こども食堂を起点にひとり親家庭が地域とつながりながら暮らしていけるような環境を構築することを目標としている。

食堂の運営は、参加者から「食べたいもの」「ここでやってみたいこと」をリクエストして実現するよう仕組みをつくっている。また、これまでのインクルいわてでの活動経験を取

り入れ、「食べるだけ」の食堂から相談、遊び、学習、地域連携の取り組みを入れているところがインクルいわて独自の「子ども食堂」である。

平成 29 年 1 月から 3 月までの期間は、これまでの『こども食堂』の内容に加え、地域の企業が、インクルこども食堂と連携し、参加者に企業の特徴ある『職業体験』を提供する場として、『しゃいん食堂』と銘打ち、子どもたちに『仕事』『地域企業』への興味、関心の誘起の場として、毎月 1 回、計 3 回開催した。『しゃいん食堂』企画は、『職業体験』だけでなく、食事の場をいっしょに設けることで地域企業の方々との交流の場ともなっており、参加者のみならず、『しゃいん食堂』企画協力企業の方々にも、社会貢献としての意味合いも含め、大変好評を得ている。

* 物資支援・就業支援事業

平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月までひとり親家族の教育費用の軽減を目的として、ランドセルの寄付、ひとり親の母子へ就職活動支援を目的としてレンタルスーツ、制服、学用品のリサイクル事業を行った。子ども食堂の利用者からの要望、または物資が必要とする方々を子ども食堂に招いて、皆で食事をとりながらお話を聞いて相談員が課題解決へ結び付くよう取り組んだ。物資の支援については、現在も当法人のこども食堂等の広告を目にする形で、昨年度はランドセル、複数種類をいわて連携復興センター様を通じて、コクヨ様より 37 個の寄付をいただいた他、一般の方々からの制服寄付も集まっており、活動の広がりを見せている。また昨年度宮古市、岩泉町を襲った豪雨災害の際には、カタログハウス様より、口紅、石鹸等の物資支援をいただき、宮古市社会福祉協議会様を通じて、宮古市、岩泉町の被災された皆様に物資を提供した。

* 岩手県男女共同参画センター運営事業

岩手県の委託のもと、事業実施期間は平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで。平成 29 年度も継続して受託運営している。男女共同参画社会の実現に向けて、県民が自主的、主体的に活動し、交流するために、情報、学習、相談、交流の 4 つの基本的な機能に沿って事業をおこなう拠点として施設岩手県盛岡市盛岡駅西通いわて県民情報交流センター（アイーナ）にある。主な事業の目的として、いわて男女共同参画プランを推進するため、県民、NPO 等、男女共同参画サポーター、農林水産関係団体・企業等、市町村と連携しながら、男女共同参画に関する情報の収集・提供、県民への学習機会の提供、相談事業などを効果的に実施する他、配偶者暴力相談支援センター機能を持つ。

事業結果については、岩手県男女共同参画センターによる自己評価を基本とする事業報告書で文書化し、評価にあたっては、外部としてセンター運営協議会からの意見聴取を反映し、最終評価をとりまとめしている。

* 女性の活躍推進に係る研修及びセミナー等運営事業

岩手県の委託のもと、事業実施期間は平成 28 年 6 月から平成 29 年 3 月 31 日まで。平成 29 年度も継続して受託運営している。平成 27 年 9 月、女性の職業生活における活躍の推進

に関する法律（以下、「女性活躍推進法」という。）が成立し、「女性の活躍」の推進に向け、岩手県内でも官民が連携し様々な取り組みが実施されている。本事業は、セミナー等の啓発活動を通じ、県民一人ひとりの女性活躍推進に向けた意識改革を進め、家庭においても、職場においても、地域においても、性別を問わず、多様な生き方、多様な働き方が自然に選択できる風土が醸成されることにより継続的な女性活躍の推進の達成を目標とするものである。

事業結果については、岩手県男女共同参画センターによる自己評価を基本とする事業報告書で文書化し、評価にあたっては、外部としてセンター運営協議会からの意見聴取を反映し、最終評価をとりまとめしている。

* いわて内陸避難者支援センター運営事業

宮古市以南の6市町と福島県から、岩手県内外に避難する世帯に対し、住宅供与期間終了後の住まいの意向把握調査を行った。調査方法は、訪問、電話、郵送により行い、12月末時点で、岩手県内の避難者全戸への訪問を完了。2月から3月末時点で、岩手県外に避難する世帯の内、電話や郵送での意向把握調査に回答の無い世帯にも訪問を実施し、意向把握調査を実施した。福島県からの避難者については、一旦岩手県への退去届が全戸から提出されている。現在は、住宅移行が確実に行われているか、確認を行っている。

平成29年4月以降、宮古市からの避難者の内、特定延長の対象とならない世帯については、供与期間終了とともに、みなし仮設住宅を入居者自身が契約継続または現住居からの転居の必要性が出てくる。そのため意向確定している世帯についても、恒久的住宅への移行がすすんでいるか、現在確認調査を実施している。

恒久的住宅移行に課題を抱える避難者世帯については、訪問、電話、郵送などでの相談対応を意向把握調査と並行して実施した。意向把握調査で聞き取った世帯の課題が、住宅移行の上の課題とつながる状況がある他、避難期間の長期化に伴うと思われる「住宅供与期間の終了が近づくまで決められない」という意見など、住宅供与から家賃負担等の発生する状況について、具体的方策を講じることができないとする世帯も見られる。

特に高齢者世帯を中心として、年金収入等が限られ、就労収入がない、または少ない世帯については、内陸災害公営住宅や、一般の公営住宅等、低廉な費用で生活できる住居への移行を望む声は多く、内陸災害公営住宅の入居に合致せずに入居できなかった場合や建設場所が希望と異なることに伴う入居辞退があった場合などは、恒久的住宅への移行に大きな支障をきたしかねない状況もある。居住地域の問題は、生活とも密接に関連する状況ではあるため、内陸災害公営住宅については、応募を勧めるが、加算支援金の受給や、福祉制度の活用など、制度を活用した恒久的住宅の確保を相談対応の中で行っていくことで、避難者世帯の希望に沿う形での住宅移行を進めている。

制度利用や、地域支援、生活支援が必要と考えられる世帯については、センターだけで対応することなく、行政機関、社会福祉協議会、地域の支援団体等、関係機関と連携の上、世帯の支援にあたる。本年度も既に複数回実施しているが、対象となる世帯の生活課題に応じては、関係機関と支援会議を行うなど、複数機関で対応方針を定めたいうえで、支援実施する。

また少数ではあるが、県内外とも訪問や連絡を明確に拒む世帯、訪問時在宅と思われるが

居留守などの状況で対応されない場合がある。そうした世帯についても、関係機関との連携のもと、継続的にアプローチを実施し、供与期間の終了とともに住居に困るといった状況の無いよう、書面での情報提示など、必要な情報が伝わるよう実施している。

***平成 28 年度寄り添い型相談支援事業（よりそいホットライン…地域センターいわて）**

一般社団法人社会的包摂サポートセンターの委託により、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの期間、事業実施した。24 時間 365 日全国の相談センターが交代制で、生活上の困りごと、悩みや、希死念慮、DV 被害、性暴力、セクシャルマイノリティの方が抱える問題など、多様な問題について、電話で対応する事業である。

電話での相談結果、直接支援が必要となる対象者については、関係機関と連携し、相談窓口とつなげる機能を持つほか、定期的な対応が必要な相談者については、本年度より『居場所』機能を設けることにより、本人が安心できる環境を確保するとともに、継続的に対面の上で相談対応することで、本人のエンパワメントにつながるよう支援した。

東日本大震災の発災以降、5 年が経過しようとしているが、被災地においては、避難生活の長期化による被災者の心理的負担の増加や、仮設住宅から災害公営住宅への転居、仮設住宅の集約化など、避難生活を取り巻く環境の変化などにより、被災者の方々が抱える課題も多様化・複雑化してきている状況がある。こうした中で、被災地を含め、全国を対象に、様々な悩みを傾聴し、必要な支援を行う「寄り添い型相談支援事業」を実施してきたが、今般、被災者の方々の抱える課題の解決に向けた取組の一層の推進を図るため、寄り添い型相談支援事業で相談を受けた被災者等（以下「相談者」という。）に対して、地域で安心して生活を継続するための支援を行う「被災者見守り・相談支援事業（公募団体実施分）」として実施したものの。

***地域連携・政策提言事業**

市内・県内のみならず、県外やメディアによる広報を行った。特にこどもの貧困問題については、県内の出張相談に限らず、岩手県内外より、視察受け入れ、研修等を行い、広い地域の団体、地域住民に社会問題としての『子どもの貧困』について、提起を行った。平成 29 年 3 月 11 日には、特定非営利活動法人ジェン（JEN）様との共催で、『共生社会の実現を目指すシンポジウム』と題し、基調講演に村木厚子氏をお招きし、シンポジウムを開催した。

地域共生型社会についてお話しいただくとともに、全国的拡充を見せる『子ども食堂』の経緯について、湯浅誠氏から報告をいただき、当法人の実施した『インクル子ども食堂』への外部評価として、特定非営利活動法人 GAP（ジェンダーアクションプラットフォーム）の大崎麻子氏に外部評価をしていただいた。パネルディスカッションでは、岩手県内における、地域づくり、子ども子育て支援等について、参加各団体より、報告していただいた。非常に多くの方々にご参加いただいた本会は、盛岡市内、岩手県内における、ひとり親、子ども支援の理解者の広がりを感じることができた。

また昨年度は、支援団体だけでなく、経済団体の会合等にも参加の機会をいただき、企業団体様へ、ひとり親や子どもの貧困問題について、発言の機会をいただいた。今後、行政や福祉機関、市民のみならず、民間企業による社会問題への理解促進の一助として、取り組むことができると考えている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲 及び人数	事業費の金額 (千円)
子ども・子育て支援事業	JEN 委託事業 ひとり親と子どもの居場所づくり事業 インクルこども食堂	平成 28 年 4 月 29 日	盛岡市 フキデチョウ 文庫	5 名	44 名	203 千円
子ども・子育て支援事業	JEN 委託事業 包括的子ども食堂の推進事業 インクルこども食堂	平成 28 年 5 月 21 日	盛岡市 フキデチョウ 文庫	8 名	25 名	1,171 千円 (平成 28 年 5 月～平成 28 年 12 月の総額)
		平成 28 年 6 月 18 日	盛岡市 フキデチョウ 文庫	7 名	14 名	
		平成 28 年 7 月 24 日	盛岡市 しえあハート 村	20 名	35 名	
		平成 28 年 8 月 20 日	盛岡市 フキデチョウ 文庫	6 名	35 名	
		平成 28 年 9 月 17 日	盛岡市 アイーナ	12 名	19 名	
		平成 28 年 10 月 16 日	盛岡市 アイーナ	12 名	29 名	
		平成 28 年 11 月 19 日	盛岡市 フキデチョウ 文庫	12 名	24 名	
		平成 28 年 12 月 23 日	盛岡市 アイーナ	14 名	29 名	
子ども・子育て支援事業	盛岡市子ども・子育て支援事業	平成 29 年 1 月 8 日	盛岡市 材木町 3-5	13 名	23 名	1,739 千円 (平成 28 年 12 月～平成 29 年 3
		平成 29 年 1 月 22 日	盛岡市 材木町 3-5	13 名	7 名	
		平成 29 年 1 月 29 日	盛岡市 材木町 3-5	17 名	24 名	

		平成 29 年 2 月 5 日	盛岡市 材木町 3-5	15 名	12 名	月の総額)
		平成 29 年 2 月 12 日	盛岡市 材木町 3-5	9 名	15 名	
		平成 29 年 2 月 19 日	盛岡市材木町 3-5	11 名	20 名	
		平成 29 年 3 月 19 日	盛岡市 フキデチョウ 文庫	12 名	22 名	
		平成 29 年 3 月 26 日	盛岡市 青山幼稚園	13 名	20 名	
物資支援事業	ひとり親家族への制服や学用品の交換会	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月	盛岡市	3 名	ひとり親家族 23 組 (こども食堂開催時)	0 円
就労支援事業	ひとり親家族へのレンタルスーツ事業を行った	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月	盛岡市	3 名	ひとり親家族 6 組	0 円
第 3 条の目的達成のために必要な事業	岩手県委託事業 ・岩手県男女共同参画センター	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月	盛岡市 アイーナ 6 階	11 名	センター便り発行数 10,000 部 HP アクセス 73,306 件 事業関連利用者数延べ 7,839 名	22,597 千円
	・女性の活躍にかかわる研修及びセミナー実施業務	平成 28 年 6 月～平成 29 年 3 月	盛岡市アイーナ	2 名		2,346 千円
	女性のためのキャリアアップセミナー	平成 28 年 9 月 2 日 9 月 29 日 10 月 21 日		2 名	9 名 8 名 9 名	
	女性活躍にかかわる出前講座	全 12 回	岩手県内	2 名	12 か所開催	
	女性活躍のための経営者研修	平成 29 年 1 月 18 日	メトロポリタン盛岡	2 名	89 名	

	男性のためのワーク ライフバランスセミ ナー	平成 29 年 2 月 28 日	盛岡市アイ ナ	1 名	17 名	
第 3 条の 目的達成 のために 必要な事 業	岩手県委託事業 ・いわて内陸避難者 支援センター	平成 28 年 4 月 15 日 (5 月 20 日センター開 所) ~平成 29 年 3 月 31 日	盛岡市材木町 ただし訪問業 務については、 岩手県内及び 県外広域を対 応	9 名	782 世帯 (岩手県内 外含む) 訪問 858 回 電話 1499 回 面談 106 回 書面 1105 通 関係機関対 応 633 回	52,427 千円
第 3 条の 目的達成 のために 必要な事 業	一般社団法人社会的 包摂サポートセンタ ー委託事業 平成 28 年度寄り添い 型相談支援事業 (よ りそいホットライン …地域センターいわ て)	平成 28 年 4 月 ~平成 29 年 3 月	盛岡市	25 名	6632 件	37,656 千円
地域連携 事業	政府、他県、大学等 での政策提言を行っ た。				市民、支援 関係者、行 政その他団 体等	
	・北広島市議会議員 団 視察来所	平成 28 年 5 月 17 日	盛岡市	1		
	・平成 28 年度米百俵 賞 受賞 長岡市教育 委員会	平成 28 年 6 月 15 日	長岡市	1		
	・第 53 回社会福祉セ ミナー 社会福祉が 目指す自立支援とは なにか 鉄道弘済会	平成 28 年 7 月 22 日	東京都	1		
	・いわての子どもの 貧困対策推進計画出 前講座 久慈市要保 護児童対策地域協議 会研修会	平成 28 年 8 月 3 日	久慈市	1		

<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県男女共同参画サポーター養成講座 ・ 岩手経済戦略会議 2016 岩手経済同友会 ・ いわての子どもの貧困対策推進計画出前講座 洋野町民生委員児童委員協議会 ・ もりおかユースレター記事掲載 盛岡市市民部男女共同参画青少年課 ・ いわての子どもの貧困対策推進計画出前講座 岩手県教育委員会事務局宮古教育事務所 ・ 山形県議会議員団視察来所 ・ 盛岡市8020歯科保健大会 盛岡市歯科医師会 ・ 全国女性会館第60回全国大会in大阪分科会3困難な状況にある女性のための支援 全国女性会館協議会 ・ 多機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業相談支援包括化会議 盛岡市社会福祉協議会 	平成 28 年 8 月 6 日	遠野市	1		
	平成 28 年 8 月 25 日～26 日	盛岡市	1		
	平成 28 年 9 月 23 日	洋野町	1		
	平成 28 年 9 月 26 日	盛岡市	1		
	平成 28 年 10 月 26 日	宮古市	1		
	平成 28 年 11 月 7 日	盛岡市	1		
	平成 28 年 11 月 13 日	盛岡市	1		
	平成 28 年 11 月 26 日	大阪府	1		
平成 28 年 12 月～	盛岡市	1			

<ul style="list-style-type: none"> ・ 古舘公民館視察来所 	平成 28 年 12 月 7 日	盛岡市	1		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成28年度男女共同参画／少子化関連研究活動の支援における顕彰事業 活動報告 保土ヶ谷基金 	平成 28 年 12 月 9 日	神奈川県	1		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 盛岡地区更生保護女性の会交流会 	平成 28 年 12 月 22 日	盛岡市	1		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども食堂サミット2017 子ども食堂ネットワーク 	平成 29 年 1 月 15 日		1		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本地震からの復興を考えるシンポジウム 内閣府／復興庁 	平成 29 年 1 月 21 日	熊本県	1		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会 ソーシャルデザインセミナー講座 	平成 29 年 1 月 22 日	宮城県	1		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの貧困対策全国キャラバンIN山形 子どもの貧困対策センターあすのば 	平成 29 年 2 月 5 日	山形県	1		
<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもの貧困レベルアップ研修会 子どもの貧困対策センターあすのば 	平成 29 年 2 月 17 日～18 日	神奈川県	1		
<ul style="list-style-type: none"> ・ インターシティミーティング花巻 花巻ロータリークラブ 	平成 29 年 2 月 26 日	花巻市	1		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八戸学院短期大学 子ども食堂講座 八戸学院短期大学 ・ 共生社会の実現をめざすシンポジウム ・ 福祉活動推進協議会視察研修 前沢区地域福祉推進協議会 	<p>平成 29 年 2 月 26 日</p> <p>平成 29 年 3 月 11 日</p> <p>平成 29 年 3 月 15 日</p>	<p>青森県</p> <p>盛岡市</p> <p>盛岡市</p>	<p>1</p> <p>2 0</p> <p>1</p>	<p>380</p>	
--	--	---	----------------------------------	----------------------------------	------------	--

活動計算書

2016年4月1日～2017年3月31日

(単位：円)

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他事業	合 計
I 経常収益			
1. 受取会費			
受取会費	205,000		205,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金	3,247,028		3,247,028
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	20,000		20,000
4. 事業収益			
受託事業収益	120,119,613		120,119,613
5. その他収益			
受取利息	523		523
講座資料売上収益	220,915		220,915
経常収益計	123,813,079	0	123,813,079
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給与手当	70,168,215		70,168,215
法定福利費	8,246,396		8,246,396
福利厚生費	177,838		177,838
人件費計	78,592,449	0	78,592,449
(2) その他経費			
荷造運賃	381,581		381,581
広告宣伝費	702,516		702,516
印刷製本費	437,957		437,957
支払報酬	2,351,819		2,351,819
会議費	735,109		735,109
研修費	113,800		113,800
外注費	5,109,110		5,109,110
リース料	2,375,122		2,375,122
支払保険料	310,410		310,410
支払手数料	1,466,270		1,466,270
水道光熱費	1,154,550		1,154,550
地代家賃	7,322,310		7,322,310
事務用品費	3,185,928		3,185,928
消耗品費	3,381,686		3,381,686
新聞図書費	539,404		539,404
修繕費	2,325,469		2,325,469
通信費	1,607,364		1,607,364
旅費交通費	5,768,778		5,768,778
諸会費	176,700		176,700
接待交際費			0
車両燃料費	75,051		75,051
租税公課	28,536		28,536
その他事業支出			0
その他経費計	39,549,470	0	39,549,470
事業費計	118,141,919	0	118,141,919
2. 管理費			
(1) 人件費			
給与手当	601,600		601,600
法定福利費	918,364		918,364
福利厚生費	20,000		20,000
人件費計	1,539,964	0	1,539,964
(2) その他経費			
荷造運賃	6,966		6,966
広告宣伝費	151,200		151,200
印刷製本費	22,480		22,480
支払報酬	87,411		87,411
会議費	51,010		51,010
外注費	152,152		152,152
支払保険料	22,480		22,480
支払手数料	15,195		15,195
地代家賃	109,000		109,000
事務用品費	268,636		268,636
消耗品費	288,634		288,634
新聞図書費	918		918
通信費	136,448		136,448
旅費交通費	327,700		327,700
諸会費	10,000		10,000
接待交際費	98,886		98,886
租税公課	888,077		888,077
その他経費計	2,637,193	0	2,637,193
管理費計	4,177,157	0	4,177,157
経常費用計	122,319,076	0	122,319,076
税引前当期正味財産増減額			
法人税、住民税および事業税	1,494,003	0	1,494,003
当期正味財産増減額	575,700	0	575,700
前期繰越正味財産額	918,303	0	918,303
次期繰越正味財産額			4,973,954
			5,892,257

法人名： 特定非営利活動法人インクルいわて

貸借対照表

2016年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	190,409		
普通預金	18,854,153		
未収金	9,160,694		
前払費用	342,400		
仮払金	148,355		
流動資産合計		28,696,011	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			28,696,011
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	10,749,048		
預り金	1,958,561		
前受金	9,520,445		
未払法人税	575,700		
流動負債合計		22,803,754	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			22,803,754
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,973,954	
当期正味財産増減額		918,303	
正味財産合計			5,892,257
負債及び正味財産合計			28,696,011

計算書類の注記

1. 重要な会計方針
 財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理
 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況
 事業別損益の状況は以下の通りです。

科 目	特定非営利活動に係る事業							事業部門計	管理部門	合計
	ひとり親とこどもの居場所づくりパイロット事業(特定非営利活動法人JEN)	包括的子ども食堂の推進事業(特定非営利活動法人JEN)	ひとり親とこどもの居場所づくり事業(盛岡市子ども子育て支援事業)	平成28年度寄り添い型相談支援事業	岩手県男女共同参画センター委託事業	岩手県男女共同参画センター女性活事業	いわて内陸避難者支援センター委託事業			
I 経常収益										
受取会費								0	205,000	205,000
受取寄付金								0	3,247,028	3,247,028
受取助成金等								0	20,000	20,000
事業収益	203,415	1,039,477	1,500,000	37,656,021	22,385,160	2,418,508	52,421,901	117,624,582	2,495,031	120,119,613
その他収益				28	221,155	13	58	221,254	184	221,438
経常収益計	203,415	1,039,477	1,500,000	37,656,049	22,606,315	2,418,621	52,421,959	117,845,836	5,967,243	123,813,079
II 経常費用										
(1) 人件費	188,500	633,500	723,480	28,140,905	15,997,885	1,023,971	31,884,208	78,592,449	1,539,964	80,132,413
人件費計	188,500	633,500	723,480	28,140,905	15,997,885	1,023,971	31,884,208	78,592,449	1,539,964	80,132,413
(2) その他経費				231,550			150,031	381,581	6,966	388,547
荷造運賃				389,880	12,636			702,516	151,200	853,716
広告宣伝費		300,000						437,957	22,480	460,437
印刷製本費	10,210	153,250	14,120				260,377	918,000	2,351,819	2,439,230
支払報酬料				180,000	1,253,819		918,000	735,109	51,010	786,119
会議費					66,452	668,657		113,800		113,800
研修費					105,800			3,558,153	152,152	5,261,262
外注費					1,550,957			2,375,122		2,375,122
リース料				71,570	60,780		178,060	310,410	22,480	332,890
支払保険料		1,964		923,400	31,510	9,438	499,958	1,466,270	15,195	1,481,465
水道光熱費			23,366	372,745			758,439	1,154,550		1,154,550
地代家賃			62,175	2,455,390	435,920		4,368,825	7,322,310	109,000	7,431,310
事務用品費			34,695	80,461	1,532,589	225,107	1,312,076	3,185,928	268,636	3,454,564
消耗品費	3,095	56,248	296,206	726,565	188,874		2,110,698	3,381,686	289,534	3,670,320
新聞図書費			540	94,320	256,816		187,726	539,404	918	540,322
修繕費			511,617	1,784,800	29,052			2,325,469		2,325,469
通信費	1,610	21,865	31,114	586,417	315,920		650,438	1,607,364	136,448	1,743,812
旅費交通費		3,940	41,450	1,540,085	576,740	417,883	3,188,680	5,768,778	327,700	6,096,478
諸会費					161,700			176,700	10,000	186,700
接待交際費								0	98,886	98,886
車両燃料費				75,051				75,051		75,051
租税公課				4,800	20,036		3,700	28,536	888,077	916,613
その他経費計	14,915	537,267	1,015,283	9,517,034	6,599,601	1,322,085	20,543,285	39,549,470	2,637,193	42,186,663
経常費用計	203,415	1,170,767	1,738,763	37,657,939	22,597,486	2,346,056	52,427,493	118,141,919	4,177,157	122,319,076
当期経常増減額	0	△ 131,290	△ 238,763	△ 1,890	8,829	72,565	△ 5,534	△ 296,083	1,790,086	1,494,003

法人名： 特定非営利活動法人インクルいわて

財産目録

2017年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	140,409		
商品券	50,000		
普通預金			
ゆうちょ銀行振替	0		
ゆうちょ銀行	0		
ゆうちょ銀行	0		
ゆうちょ銀行	1,860,960		
ゆうちょ銀行	2,102,403		
岩手銀行材木町普通	2,999,564		
岩手銀行材木町普通	2,042,298		
岩手銀行材木町普通	1,000		
岩手銀行材木町普通	9,001,000		
岩手銀行材木町普通	18,502		
岩手銀行盛岡駅前普通	828,426		
未収金			
未収金	9,160,694		
前払費用	342,400		
仮払金	148,355		
	0		
流動資産合計		28,696,011	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			28,696,011
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
未払金	10,749,048		
預り金	1,958,561		
前受金	9,520,445		
未払法人税等	575,700		
流動負債合計		22,803,754	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			22,803,754
正味財産			5,892,257